

活動名称 (40字以内)	癒しの森の森林管理～おじいさんは山へ柴刈りに～		
団体名等	大学院農学生命科学研究科附属演習林		
活動区分	<input type="checkbox"/> ボランティアなどの社会貢献活動	選考方法	<input type="checkbox"/> 先着順
	<input type="checkbox"/> 国際交流体験活動		<input checked="" type="checkbox"/> 書類審査
	<input type="checkbox"/> 就労体験活動	募集人数	<input type="checkbox"/> 面接
	<input type="checkbox"/> 農林水産業・地域体験活動		5 人
	<input checked="" type="checkbox"/> フィールドワーク体験活動		
<input type="checkbox"/> 研究室体験活動			
参加資格等	学部学生		
活動期間	2019/8/27(火) ～ 8/29(木)	主な活動場所	附属演習林富士癒しの森研究所 (山梨県南都留郡山中湖村)
	2019/12/21(土) ～ 12/22(日)		
	5 日間		
目的	富士癒しの森研究所の森林管理作業として行っている落ち枝整理、柴刈り、柴垣作り、薪作り、落ち葉焚き等の林内環境整備を行い、伝統的な森林と人間との関わりの文化に触れる。また夏の部では芝刈りや試験研究業務として行われる試験地整備の作業も体験する。		
具体的な内容 (800字程度)	<p>富士癒しの森研究所では従来より森林景観に留意した森林管理を行っている。平成23年度からは「癒しの森実証林プロジェクト」として「小規模森林資源利用を組み込んだ地域循環型の森林管理手法」の構築を目標として教育研究フィールドの充実に取り組んでいる。</p> <p>こうした森林管理作業の一環として、富士癒しの森研究所で行っている林内環境整備や試験研究業務を夏と冬に分けて教職員と協働して行う。夏の部は8月27日から29日の2泊3日で、夏場特有の芝刈り作業、長期プロットの整備作業などの研究基盤整備業務、林内の落ち枝整理や柴刈りなど森林の景観を守る作業、柴垣作りや薪作りなどの林内の景観を損ね安全管理上も処理する必要がある倒木を有効利用する作業等を行う。冬の部は12月21日から22日の1泊2日で、富士癒しの森研究所第Ⅰ林班で例年行っている「落ち葉かき」と「落ち葉焚き」による特徴的な森林管理作業を行うことでより深く森林に親しむと同時に、8月に自ら作った薪を使って昼食を作るなど通常の生活ではなかなか味わえなくなった現在の日本で失われつつある森林に関わる文化に触れる。夏と冬の森林管理作業を体験することを通して、季節の変化と自然との中で生きてきた日本人の心に触れる機会としたい。</p> <p>【夏の部、冬の部の体験内容は異なる。いずれかの1回に参加することも2回すべてに参加することも可能であるが、希望者が多かった場合は2回とも参加することのできる学生を優先する。】</p>		
備考	<p>・集合 (夏の部)：富士癒しの森研究所事務所に8月27日午後1時までに集合 (冬の部)：富士癒しの森研究所事務所に12月21日午後1時までに集合</p> <p>集合場所は、新宿高速バスターミナルからの高速バスを利用し山中湖村役場下車徒歩5分(高速バスは1ヶ月前から予約でき、朝1番の便はかなり早く満席になるので、早めに予約を行うよう推奨する。)</p> <p>・宿泊：富士癒しの森研究所管内にある山中寮内藤セミナーハウス(手配は主催者側で行う。)</p> <p>(夏の部)：作業時は夏でも安全管理上長袖長ズボンで行う。 朝晩は比較的冷えるのである程度の寒さ対策が必要。 (冬の部)：冬の山中湖村は大変寒く朝方は-15℃以下になることもあるので、十分な防寒対策をするように。</p>		
参加するための費用*	内 訳(1名当たり)	その他*特記事項は以下に記載	
	交通費 4,500 円 宿泊費 5,000 円 食費 5,000 円 () 円 計 14,500 円	左の費用は夏の部(2泊3日)の食費(その他)込みのおよその費用。冬の部(1泊2日)は宿泊費、食費(その他)が半額となる。 奨励金額 夏の部参加者：8,600 円 冬の部参加者：6,100 円	
ウェブサイト等	富士癒しの森研究所のホームページ(http://www.uf.a.u-tokyo.ac.jp/fuji/)からブログ「癒しの森のさんぼみち」に入ると過去の体験活動や落ち葉焚きの様子を見ることができます。		